

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第九小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A	○全教職員が、校長の構想を理解・共有し、同じ方向を向いて取り組むことができているため、次年度以降も共通理解・共通行動を推進することで、目標の具現化を図る。	A	・校長を中心に教職員が生き生きと一丸となり、取り組むことができている。 ・学校だよりや掲示物など、より良い学校にしようとしている取組が、効果を表している。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	A	○増築工事のため施設設備環境に変化がある中で、安全に活動させることができるように、担当課や事業者と連携を密にして、無事故の工事を推進する。	A	・いじめ問題には、早期から対応していることで解決することができている。不登校にもカウンセラーを活用して、個別対応で解決することができるよう努力している。 ・不審者対応の非常放送など周知がされている。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	A	○学力の二極化がみられる中で、下位の児童の底上げを図る必要がある。 ○少人数指導等の個々の児童の躓きに応じた指導を充実させ、基礎学力を定着させる。	B	・個人差があるので大変だが、少人数指導等で下位の児童を救えるとよい。各先生のフォローはありがたい。 ・児童は積極的に授業に参加している。 ・基礎の基礎のための読む力が足りない。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	○校内研修を軸にICTを活用した授業改善に努めているので、引き続き研究推進委員会を中心に校内研修を充実させ、学力向上を図る。	A	・公開授業を参観して、授業改善に努めていることがわかる。タブレットを有効に活用している先生が多い。 ・授業で間違った箇所を放課後を使って復習するなどして、先生の力を借りながら、基礎を定着するように児童も努力している。 ・個性のある児童の指導は並大抵ではない。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	A	○集会・朝会など、全校の活動場面では、時刻を守り、私語も少なく、話を聞くなど、規律ある態度が身につけている。 ○あいさつの励行等については引き続き指導していく。	B	・あいさつのできる児童が多い。 ・学校内や登下校時はある程度ルールが守られているが、帰宅後の自転車の交通ルールや夕焼けチャイムを守ることができていない。 ・下校時に道路に座り込んだり、はみ出したりして遊んでいる子は、危険だと感じる。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	A	○集会・朝会での集合や態度を全体で褒めるなどして、児童の意識を高める工夫をしている。 ○児童の良さを認めながら、気持ちに寄り添った心に響く指導を行っていく。	A	・組織的に取り組み、効果を上げている。 ・トラブルが起きた時の対応や、個別対応がしっかりできている。 ・家庭との連携が必要である。 ・SNSのルールを教育してほしい。 ・大人がお手本となるべき、裏表のない姿を見せていくべきである。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	○冬季でも中休みや昼休みに運動場で元気に遊ぶ姿が見られる。 ○増築工事のため運動場使用に制限がある中で、安全を最優先しながら、活動ができる取組を続けていく。	A	・校庭で遊ぶ児童が多い。休み時間も外遊びをしている子がたくさんいる。ただ一方で、運動が苦手な児童も増えてきているので、そういう子たちも外に出たくなるような活動があるとよい。 ・野球などの外部指導者を招くなど興味や関心を持てるようにする。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	A	○ボール投げ・鉄棒教室・跳び箱教室などを計画的に実施し、児童の苦手克服への手立てを講じている。 ○楽しみながら達成感を味わえる活動を、家庭の協力を得ながら進めていく。	A	・色々な活動を通し、児童の体力は向上している。増築工事の期間中も安全に配慮しながら、取組を続けてほしい。 ・「運動＝走る・体力をつける」だけでなく、音楽を用いて自由に踊る機会を作ると心の健康も向上する。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	○学校応援団や保護者の協力を得て生活科見学や家庭科のミシン指導を進めたり、カインズ朝霞店の協力を得て委員会児童が花壇整備を行ったりして、連携した活動を進めている。	A	・カインズとの連携も良好で、色々取り組んでいる。 ・企業や地域の人との関わりが増えてきた。 ・社会科見学等で、地域を知ること、働く人を見ること、話を聞くことが大切である。 ・保護者同士が学びあう機会を取り入れるとよい。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	A	○放課後の児童の安全や健全育成に関して、学校と保護者・地域が同じ方向を向いて取り組んでいく必要があるため、啓発活動を丁寧に続け、理解を得ていく。	B	・学校保護者連絡会の見守り隊や地域の方々の協力で、安全に登下校ができている。 ・地域との連携をさらに深めていくことが大事である。 ・朝九小は、(学校だより等で)他校より地域の連携が深い。長年培ってきたものが信頼へとつながりお互いに子供を思いやる力の賜物である。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満